

予算アプリと実績アプリの集計 - チュートリアル

～ krewData ～

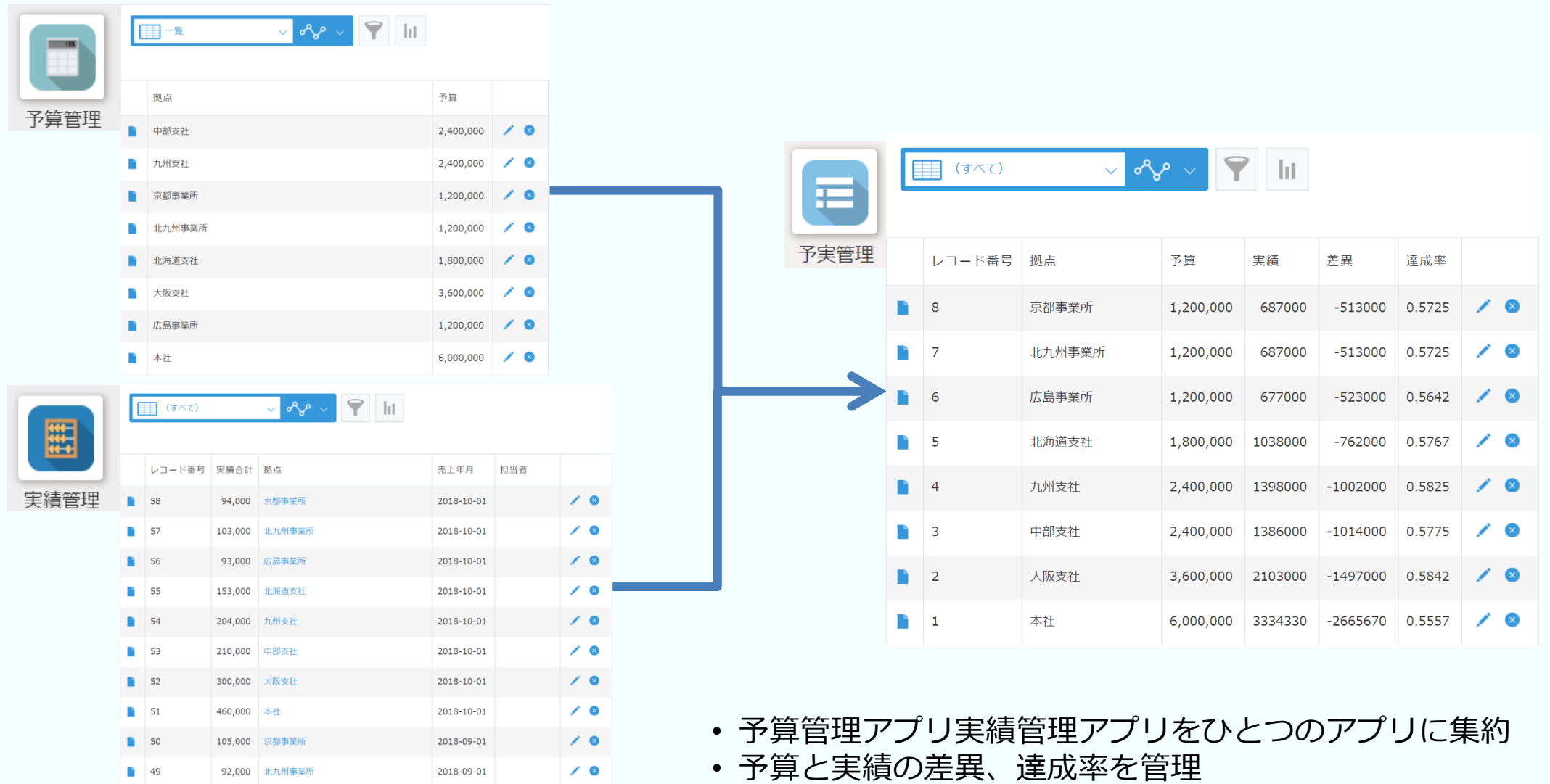


※本資料の内容は説明動画にて音声ガイド付きで学ぶこともできます。
動画学習が好みの方、多人数での学習などに、ぜひご活用ください。

テーマ



予実管理の業務改善



crewDataの基本



crewDataとは

crewDataは、複数のkintoneアプリのデータを集計・加工し、新しいkintoneアプリを作成したり、既存アプリのデータを更新することができるプラグインです。

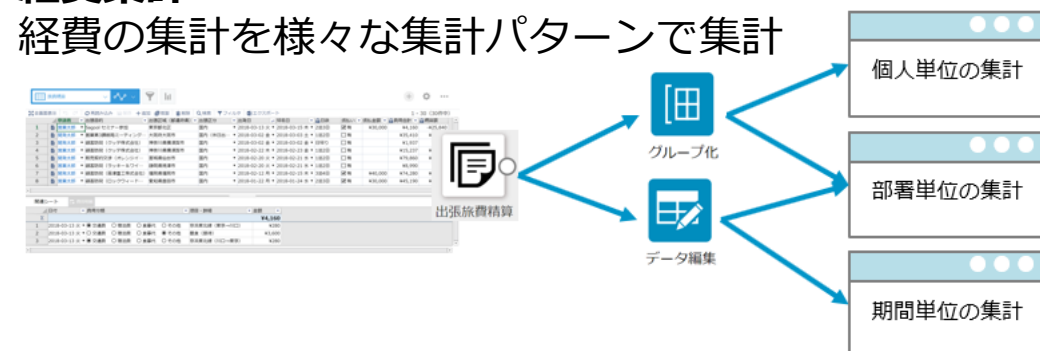
予実集計

データ構造の異なるアプリを結合／集計



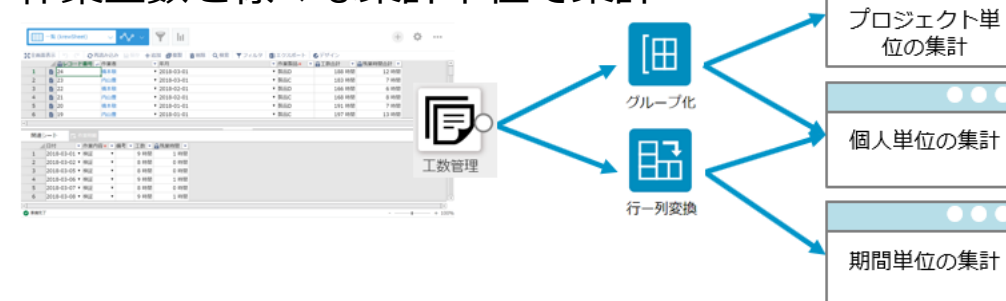
経費集計

経費の集計を様々な集計パターンで集計



工数集計

作業工数を様々な集計単位で集計



費用の配賦額計算

各部の売上額をもとに複雑な配賦計算を実現



krewDataの構成

krewDataを動作させるアプリはアプリテンプレートとして提供しています。データの集計・加工方法を定義するデータ編集フローをアプリ設定のプラグイン設定画面で行い、それ以外のアプリの機能を一部利用します。



プラグイン設定画面

ドラッグ&ドロップで集計フローを作成



アプリ管理者（[アプリ設定] - [プラグイン]）

アプリ一覧画面

実行結果（ログ）を表示

実行ログ

1 - 20 (27)

作成日時	データ編集フロー	実行結果	開始日時	終了日時	レコード数	APIリクエスト数	コマンド数	エラーログ
2018-08-06 1:13 PM	[Demo2] 販売...	成功	2018-08-06 1:13 PM	2018-08-06 1:13 PM	5	21	18	
2018-08-06 1:01 PM	[Demo2] 販売...	成功	2018-08-06 1:00 PM	2018-08-06 1:01 PM	5	22	18	
2018-08-01 1:52 PM	Convert by JIS	成功	2018-08-01 1:51 PM	2018-08-01 1:52 PM	5	11	6	
2018-08-01 1:47 PM	Convert by JIS	成功	2018-08-01 1:47 PM	2018-08-01 1:47 PM	5	13	6	

アプリの一覧画面

事前準備

1. 予算管理、実績管理アプリの作成
2. 予算管理アプリのフォーム設定変更
3. 予算管理サンプルデータの読み込み
4. 実績管理サンプルデータの読み込み

1. 予算管理、実績管理アプリの作成



kintoneポータル画面からアプリを追加



「営業・セールス」カテゴリから「予算・実績管理」を選択して追加

※予算・実績管理アプリパックの追加にはkintoneのシステム管理者権限が必要です

2. 予算管理アプリのフォーム設定変更

追加した予算管理アプリを開く

アプリの設定を開く

「値の重複を禁止する」をチェックし、[保存]をクリック

「拠点」フィールドの[設定]を選択

アプリを更新

The image shows a sequence of steps to update the 'Budget Management' app. It starts with a notification 'アプリが追加されました！' (App added!). The 'アプリ' (App) list shows '予算管理' (Budget Management) and '実績管理' (Actual Management). The '予算管理' app is selected, and its settings are opened. The settings show the '拠点' (Base) field with the option '値の重複を禁止する' (Prevent duplicate values) checked. The '保存' (Save) button is clicked, and the app is updated.

フィールドの設定

フィールド名 *

拠点

☐ フィールド名を表示しない

☐ 自動計算する ⓘ

☒ 必須項目にする

☒ 値の重複を禁止する

文字数 (整数で指定)

最小 最大 64

初期値

フィールドコード *

拠点 ☒

キャンセル

保存

変更を中止

アプリを更新

3. 予算管理サンプルデータの読み込み



予算管理アプリで「ファイルから読み込む」を選択



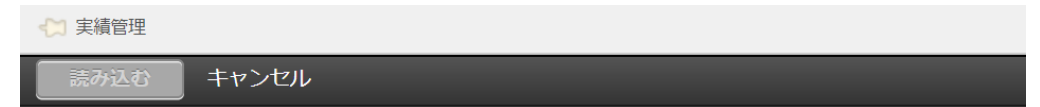
ファイルを読み込んでアプリに反映されたら完了

4. 実績管理サンプルデータの読み込み

追加した実績管理アプリを開く



「ファイルから読み込む」を選択



1 記載形式に従ってファイルのデータを整形し、読み込みます。 (.xlsx / .csv)

フィールドの種類ごとに読み込める記載形式 (kintone ユーザーヘルプ)

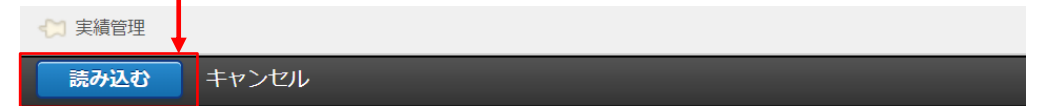
参照 (Excelブック形式：最大1MB、1,000行まで CSV形式：最大100 MB、10万行まで)

名前

実績管理_SampleData.csv

予算管理_SampleData.csv

このファイルに同封している
実績管理_SampleData.csv ファイルを選択



1 記載形式に従ってファイルのデータを整形し、読み込みます。 (.xlsx / .csv)

フィールドの種類ごとに読み込める記載形式 (kintone ユーザーヘルプ)

実績管理_SampleData.csv

2 KB

参照 (Excelブック形式：最大1MB、1,000行まで CSV形式：最大100 MB、10万行まで)

ファイルを読み込んでアプリに反映されたら完了

ご利用開始の準備



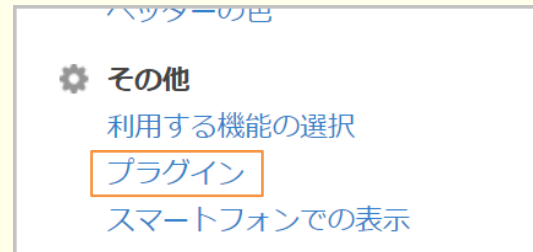
ご利用開始前の準備

kintoneにプラグインをインストール

各kintone環境で 1 回だけ実施
(システム管理者)

<https://help.cybozu.com/ja/k/admin/plugin.html>

kintoneシステム管理

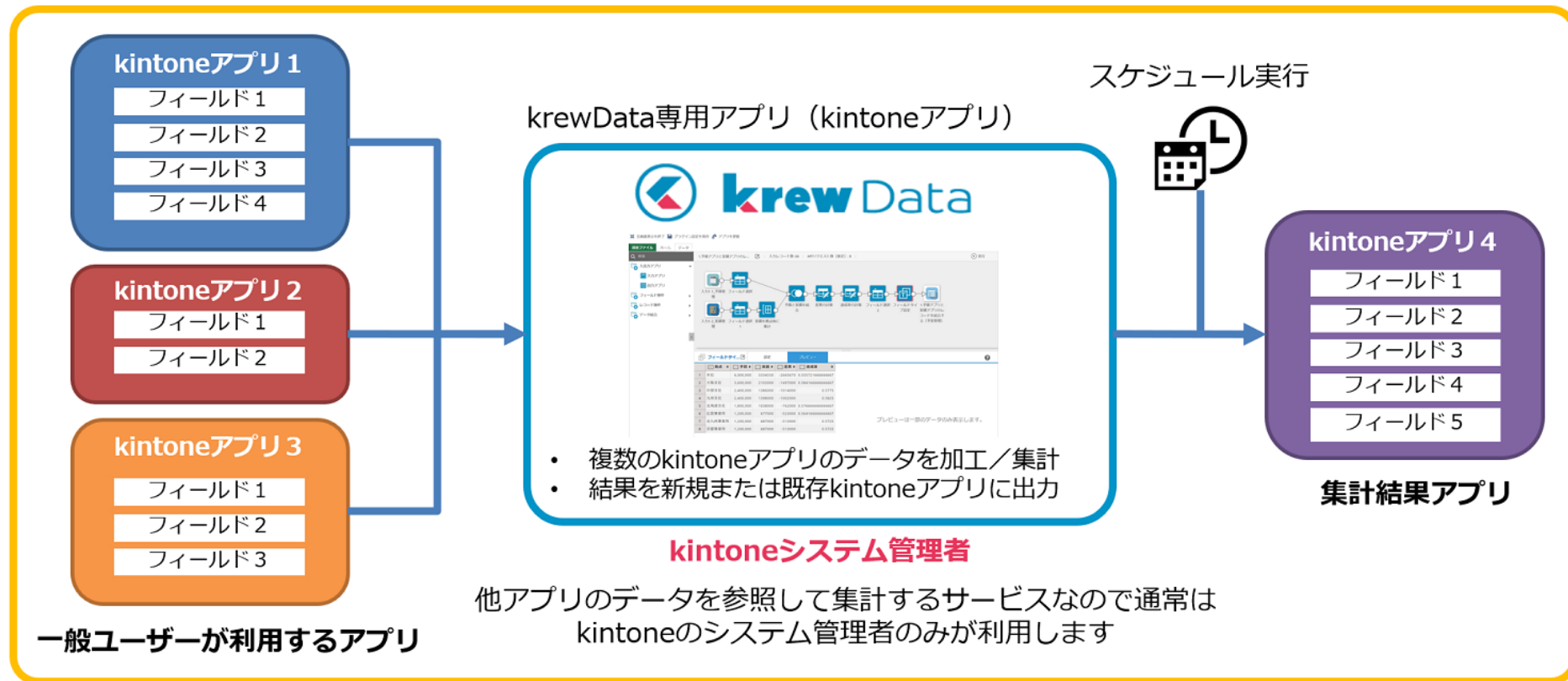


crewData専用アプリの作成



krewData専用アプリ

krewDataは、krewData専用アプリにkrewDataプラグインを追加して利用します。



krewData専用アプリの作成

これらの操作は**アプリ管理者**が各アプリごとに行います。

専用アプリを使う理由

- ログをkintoneのレコードとして登録可能にする（必要なフィールド設定済）
- リマインド通知（実行後に通知されるように設定済）
- krewDataの全ての処理を一元管理する

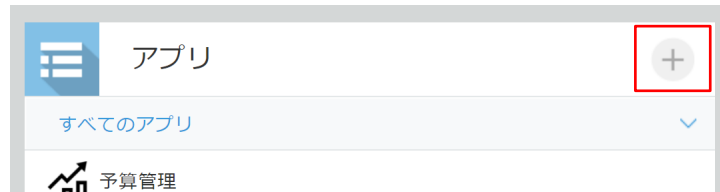
作成手順（次ページ以降の手順）

1. アプリテンプレートからkrewData専用アプリを作成
2. krewData専用アプリのアクセス権を設定
3. krewData専用アプリへのkrewDataプラグインの追加
4. krewDataプラグインの設定

1. krewData専用アプリの作成

アプリテンプレートからkrewData専用アプリを作成します。

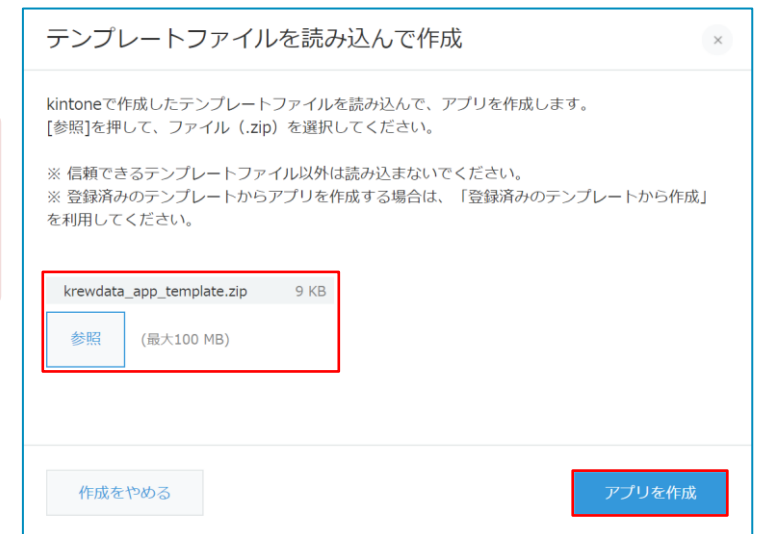
① kintoneのポータル画面からアプリを追加



② 「テンプレートファイルを読み込んで作成」を選択



③ krewData専用アプリのアプリテンプレートファイル（krewData_app_template.zip）を選択し「アプリを作成」をクリック※



※ krewData専用アプリのテンプレートファイルは下記よりダウンロードしてください
https://download.krew.mescius.jp/products/template/krewdata_app_template.zip

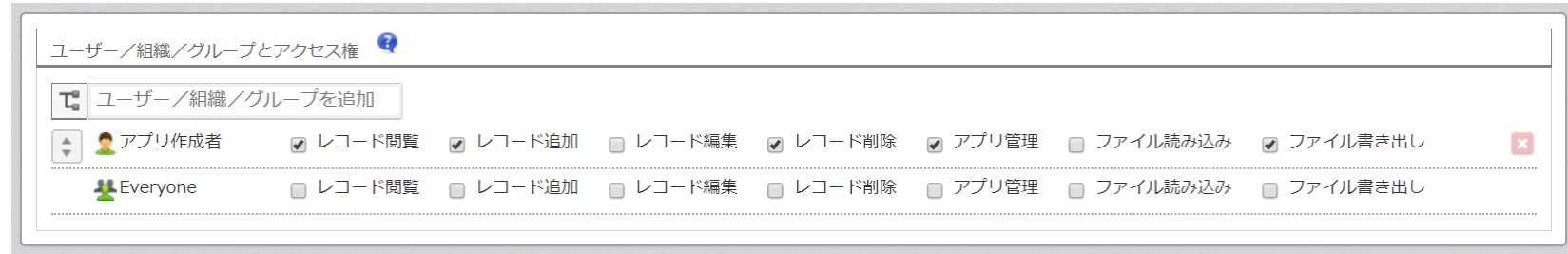
2. アクセス権の設定

krewData専用アプリのアクセス権を設定します。

① アプリの設定画面の「設定」タブをクリックし、「アクセス権」の「アプリ」をクリック



② アプリ管理者、Everyoneのアクセス権を以下に設定



※ krewDataは単一または複数の業務アプリを対象にデータを加工／集計できるため
特定の管理者に限定して利用することを推奨します。

3. krewDataプラグインの追加

krewData専用アプリにkrewDataプラグインを追加します。

- ① アプリの設定画面の「設定」タブをクリックし、「カスタマイズ／サービス連携」の「プラグイン」をクリック



- ② 「プラグインの追加」をクリック



- ③ krewDataプラグインのチェックボックスを選択し、[追加]ボタンをクリック



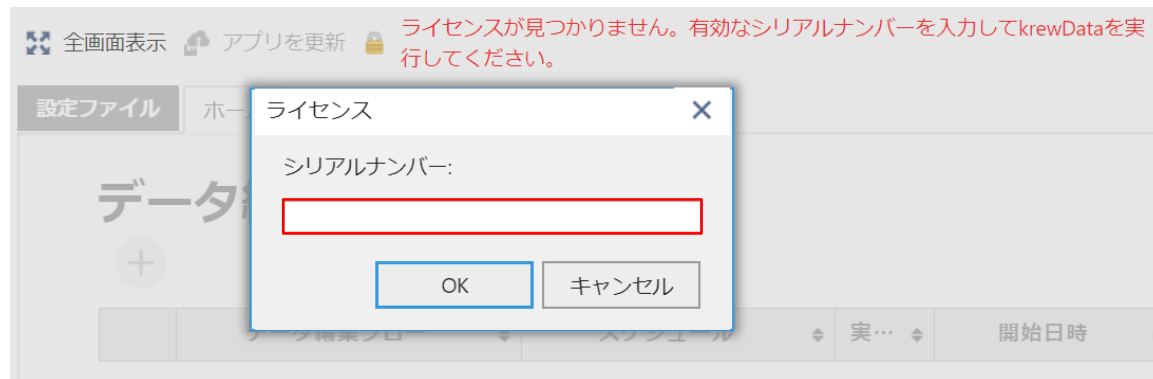
4. ライセンスの設定

krewDataのライセンスを設定します。

① krewDataプラグインの設定アイコンをクリック



② シリアルナンバーを入力するポップアップに購入時または無料お試し申請時に入手したシリアルナンバーを入力し [OK] をクリック



以上でkrewDataを利用する準備が整いました。

完成イメージの確認



データの集計・加工イメージ

本チュートリアルでは、以下のデータ集計・加工を行うデータ編集フローを作成します。



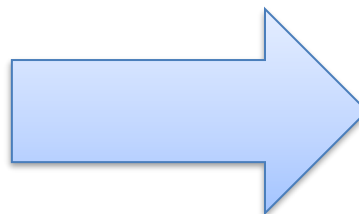
拠点	予算
本社	6,000,000
大阪支社	3,600,000
中部支社	2,400,000
九州支社	2,400,000
北海道支社	1,800,000
広島事業所	1,200,000
北九州事業所	1,200,000
京都事業所	1,200,000



拠点	売上年月	実績合計	担当者
本社	2018/4/1	450,000	
大阪支社	2018/4/1	303,000	
中部支社	2018/4/1	202,000	
九州支社	2018/4/1	208,000	
北海道支社	2018/4/1	138,000	
広島事業所	2018/4/1	104,000	
北九州事業所	2018/4/1	102,000	
京都事業所	2018/4/1	95,000	
本社	2018/5/1	470,000	
大阪支社	2018/5/1	288,000	

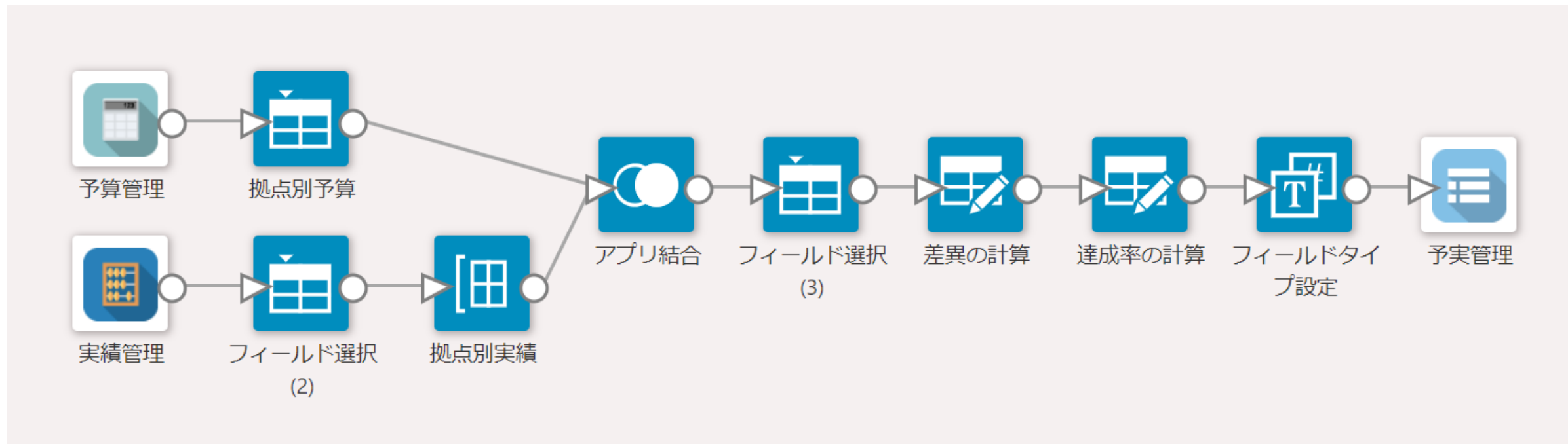


拠点	予算	実績	差異	達成率
京都事業所	1,200,000	687,000	-513,000	0.573
北九州事業所	1,200,000	687,000	-513,000	0.573
広島事業所	1,200,000	677,000	-523,000	0.564
北海道支社	1,800,000	1,038,000	-762,000	0.577
九州支社	2,400,000	1,398,000	-1,002,000	0.583
中部支社	2,400,000	1,386,000	-1,014,000	0.578
大阪支社	3,600,000	2,103,000	-1,497,000	0.584
本社	6,000,000	3,334,330	-2,665,670	0.556



1. 実績管理アプリのレコードを拠点単位でグループ集計
2. 予算管理アプリと実績管理アプリの拠点が同じレコードを結合
3. 結合した各レコードの予算と実績フィールドの値から差異（実績－予算）、達成率（実績÷予算）を算出

作成するデータ編集フロー（完成イメージ）



データ編集フローの作成



データ編集フロー作成の流れ

データ編集フローは以下の3ステップで作成します。

1. 入力アプリを選択



データ取得元のアプリを選択します
(複数選択可能)

2. 編集コマンドを定義



データ編集コマンドを組み合わせ
てデータを集計・加工します。

3. 出力アプリを選択




データ出力（更新）先のアプリを選択
します。

- データ編集フローは常に「入力アプリ」コマンドで始まり、「出力アプリ」コマンドで終わる
- 入力アプリコマンドと出力アプリコマンドの間に編集コマンドを配置し、データの集計・加工方法を定義
- 配置したコマンドは接続線で結ばれ、編集したデータは矢印の向きに流れる

1. 新規データ編集フローの作成

新規データ編集フローを作成します。

① ホームタブの  をクリックして、新しいデータ編集フローを作成します。

② 作成したデータ編集フローの設定アイコンをクリックし、「データ」タブを開く

全画面表示を終了 アプリを更新

設定ファイル

ホーム

データ編集フロー



データ編集フロー	スケジュール	スケジュール実行	



全画面表示を終了 アプリを更新

設定ファイル

ホーム

データ編集フロー



データ編集フロー	スケジュール	スケジュール実行	実行
 フロー 1	 スケジュールなし	<input type="checkbox"/>	

設定ファイル ホーム データ

検索

- 入出力アプリ
 - 入力アプリ
 - 出力アプリ
- フィールド操作
- レコード操作
- データ結合

ジョブ 1 入力レコード数: 0 APIリクエスト数 (推定): 0 実行

1. 入力

2. 加工/集計

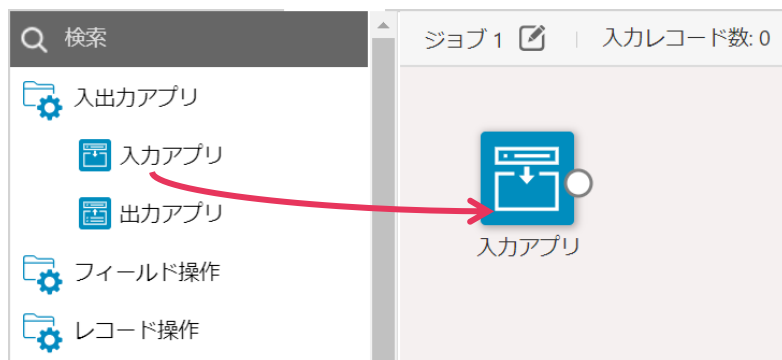
3. 出力

入力アプリコマンドを追ってデータ編集コマンドを出力アプリにデータ編集フローの作成を続けてデータを加工/集計フローの結果を出力します。

2. 入力アプリの選択（予算管理アプリ）

予算管理アプリのデータを取得する「入力アプリ」コマンドを追加します。

- ① コマンドパネルからフロー作成エリアに「入力アプリ」コマンドを追加



ポイント

アプリ選択時にフィルタを利用して可能な限り取得レコード数を最小限にする！
（本チュートリアルでは全件利用）



- ② 設定タブで「アプリ選択」ボタンをクリックし、アプリ選択ダイアログで「予算管理」アプリを選択



- ③ 「すべてのフィールドを追加」をクリックし、使用するフィールドを選択

フィールド 多くのフィールドを選択すると、処理時間に影響する可能性があります。使用する必要最低限のフィールドを選択



- ④ 「プレビュー」タブで入力アプリのデータを確認 ※

The screenshot shows the 'プレビュー' (Preview) tab of the '予算管理' (Budget Management) app. It displays a table with 8 rows of data. The table has columns for 'レコード番号' (Record Number), '拠点' (Location), '予算' (Budget), '更新者' (Updater), '作成者' (Creator), '更新日時' (Update Date/Time), and '作成日時' (Creation Date/Time). The data is as follows:

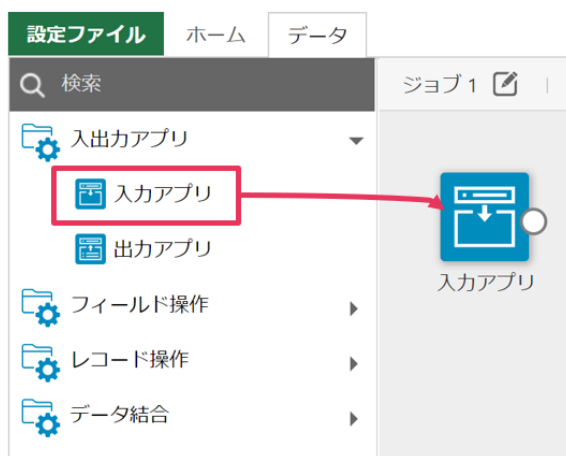
レコード番号	拠点	予算	更新者	作成者	更新日時	作成日時
1	16	京都事業所	1,200,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
2	15	北九州事業所	1,200,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
3	14	広島事業所	1,200,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
4	13	北海道支社	1,800,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
5	12	九州支社	2,400,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
6	11	中部支社	2,400,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
7	10	大阪支社	3,600,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
8	9	本社	6,000,000		2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40

※プレビュータブには、最大500件のレコードが表示されます。

次のステップへ

完了

1. 入力アプリを選択



データ取得元のアプリを選択します
(複数選択可能)

2. 編集コマンドを定義



データ編集コマンドを組み合わせ
てデータを集計・加工します。

3. 出力アプリを選択

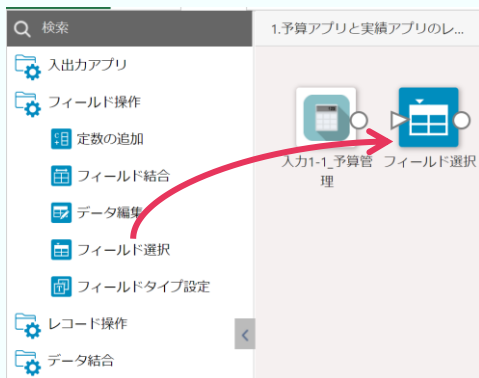


データ出力（更新）先のアプリを選択
します。

データ編集フロー作成の基本

フローの作成は基本的に以下の手順を1セットとして繰り返し設定していきます。

①コマンドを配置



②コマンドをつなぐ



③コマンドを設定



必要に応じてコマンド名も設定

④プレビューで確認※

	ABC 拠点	123 予算
1	京都事業所	1,200,000
2	北九州事業所	1,200,000
3	広島事業所	1,200,000
4	北海道支社	1,800,000
5	九州支社	2,400,000
6	中部支社	2,400,000
7	大阪支社	3,600,000
8	本社	6,000,000

※プレビュータブには、入力アプリから取得した最大500件のレコードが表示されます。

3. フィールド選択（予算管理アプリ） 完了イメージ

フローで利用する必要なフィールドのみ抽出します。

Before

	123 レコード番号 ◆	ABC 拠点 ◆	123 予算 ◆	更新者 ◆	作成者 ◆	更新日時 ◆	作成日時 ◆
1	16	京都事業所	1,200,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
2	15	北九州事業所	1,200,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
3	14	広島事業所	1,200,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
4	13	北海道支社	1,800,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
5	12	九州支社	2,400,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
6	11	中部支社	2,400,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
7	10	大阪支社	3,600,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40
8	9	本社	6,000,000			2018-10-25 14:40	2018-10-25 14:40

After

	ABC 拠点 ◆	123 予算 ◆
1	京都事業所	1,200,000
2	北九州事業所	1,200,000
3	広島事業所	1,200,000
4	北海道支社	1,800,000
5	九州支社	2,400,000
6	中部支社	2,400,000
7	大阪支社	3,600,000
8	本社	6,000,000

フローの完成イメージ



3. フィールド選択（予算管理アプリ） 設定方法

① コマンドの配置
「フィールド選択」
をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつながます



③ 必要なフィールドのみ選択する
・ 拠点
・ 予算

※設定タブが表示されない場合はフローのコマンドアイコンをクリックします



⑤ プレビューで意図した設定に
なっているかを確認

	拠点別予算	設定	プレビュー
	拠点	予算	
1	京都事業所	1,200,000	
2	北九州事業所	1,200,000	
3	広島事業所	1,200,000	
4	北海道支社	1,800,000	
5	九州支社	2,400,000	
6	中部支社	2,400,000	
7	大阪支社	3,600,000	
8	本社	6,000,000	

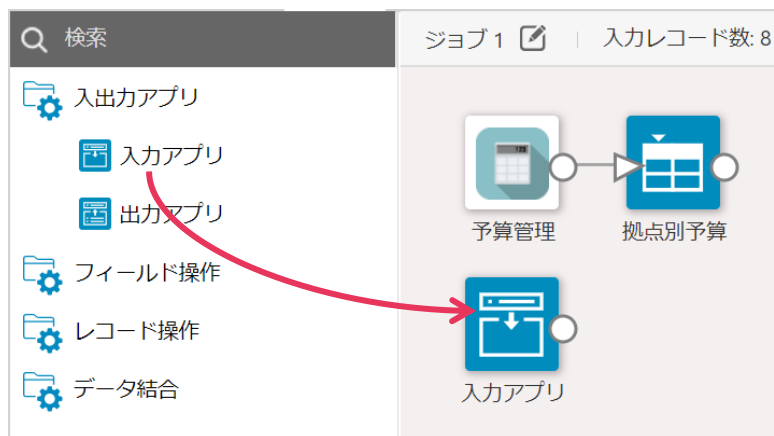
④ コマンド名もあわせて設定



4. 入力アプリの選択（実績管理アプリ）

実績管理アプリのデータを取得します。

- ① コマンドパネルからフロー作成エリアに「入力アプリ」コマンドを追加



- ② 設定タブで「アプリ選択」ボタンをクリックし、アプリ選択ダイアログで「実績管理」アプリを選択



- ③ 「すべてのフィールドを追加」をクリックし、使用するフィールドを選択

フィールド ⚠ 多くのフィールドを選択すると、処理時間に影響する可能性があります。使用する必要最低限のフィールドを選択



- ④ 「プレビュー」タブで入力アプリのデータを確認 ※

The screenshot shows the 'プレビュー' (Preview) tab of the '実績管理' (Performance Management) app. It displays a table of data with columns for 'レコード番号' (Record Number), '拠点' (Location), '売上年月' (Sales Year/Month), '担当者' (Responsible Person), '実績合計' (Actual Total), '更新者' (Updater), and '作成者' (Creator). The table contains 7 rows of data.

	レコード番号	拠点	売上年月	担当者	実績合計	更新者	作成者
1	58	京都事業所	2018-10-01		94,000		
2	57	北九州事業所	2018-10-01		103,000		
3	56	広島事業所	2018-10-01		93,000		
4	55	北海道支社	2018-10-01		153,000		
5	54	九州支社	2018-10-01		204,000		
6	53	中部支社	2018-10-01		210,000		
7	52	大阪支社	2018-10-01		300,000		

5. フィールド選択（実績管理アプリ） 完了イメージ

フローで利用する必要なフィールドのみ抽出します。

Before

	123 レコード番号 ◆	ABC 拠点 ◆	📅 売上年月 ◆	👤 担当者 ◆	📊 実績合計 ◆	👤 更新者 ◆	👤 作成者 ◆
1	58	京都事業所	2018-10-01		94,000		
2	57	北九州事業所	2018-10-01		103,000		
3	56	広島事業所	2018-10-01		93,000		
4	55	北海道支社	2018-10-01		153,000		
5	54	九州支社	2018-10-01		204,000		
6	53	中部支社	2018-10-01		210,000		
7	52	大阪支社	2018-10-01		300,000		

After

	ABC 拠点 ◆	📅 売上年月 ◆	📊 実績合計 ◆
1	京都事業所	2018-10-01	94,000
2	北九州事業所	2018-10-01	103,000
3	広島事業所	2018-10-01	93,000
4	北海道支社	2018-10-01	153,000
5	九州支社	2018-10-01	204,000
6	中部支社	2018-10-01	210,000
7	大阪支社	2018-10-01	300,000
8	本社	2018-10-01	460,000

フローの完成イメージ



5. フィールド選択（実績管理アプリ） 設定方法

① コマンドの配置
「フィールド選択」
をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



③ 必要なフィールドのみ選択する
・ 拠点
・ 売上年月
・ 実績合計

フィールド選択

設定

プレビュー

1. 使用するフィールドを選択

2. 新しいフィールド名を入力（オプション）

1	≡ 拠点	名前の変更	×
2	≡ 売上年月	名前の変更	×
3	≡ 実績合計	名前の変更	×

----- ▼

すべてのフィールドを追加

すべてのフィールドを削除

3/9 選

④ プレビューで意図した設定に
なっているかを確認

	フィールド選択	設定	プレビュー
	ABC 拠点	売上年月	実績合計
1	京都事業所	2018-10-01	94,000
2	北九州事業所	2018-10-01	103,000
3	広島事業所	2018-10-01	93,000
4	北海道支社	2018-10-01	153,000
5	九州支社	2018-10-01	204,000
6	中部支社	2018-10-01	210,000
7	大阪支社	2018-10-01	300,000
8	本社	2018-10-01	460,000

※設定タブが表示されない場合はフローのコマンドアイコンをクリックします

6. グループ集計（実績管理アプリ） 完了イメージ

実績管理アプリでは月ごとの実績を1レコードとして登録し、予算管理アプリでは拠点毎に1年間の予算を1レコードとして登録しています。ふたつのアプリのレコードを同じ集計レベルにするために、実績管理アプリのレコードを拠点毎にグループ集計します。

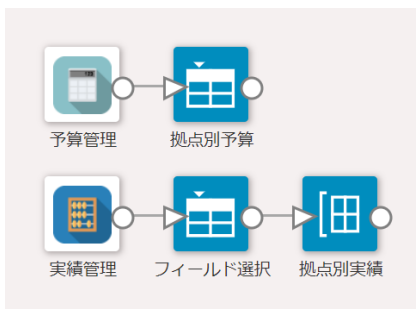
Before

After

	ABC 拠点	売上年月	実績合計
1	京都事業所	2018-10-01	94,000
2	北九州事業所	2018-10-01	103,000
3	広島事業所	2018-10-01	93,000
4	北海道支社	2018-10-01	153,000
5	九州支社	2018-10-01	204,000
6	中部支社	2018-10-01	210,000
7	大阪支社	2018-10-01	300,000
8	本社	2018-10-01	460,000
9	京都事業所	2018-09-01	105,000
10	北九州事業所	2018-09-01	92,000
11	広島事業所	2018-09-01	93,000
12	北海道支社	2018-09-01	144,000
13	九州支社	2018-09-01	188,000
14	中部支社	2018-09-01	198,000
15	大阪支社	2018-09-01	303,000
16	本社	2018-09-01	510,000

	ABC 拠点	123 実績
1	京都事業所	687000
2	北九州事業所	687000
3	広島事業所	677000
4	北海道支社	1038000
5	九州支社	1398000
6	中部支社	1386000
7	大阪支社	2103000
8	本社	3334330

フローの完成イメージ



6. グループ集計（実績管理アプリ） 設定方法

① コマンドの配置
「グループ化」をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



④ コマンド名もあわせて設定

[田] 拠点別実績

③ 集計方法を設定

[田] 拠点別実績 [設定] [プレビュー]

1. グループ化する項目フィールドを選択

拠点

フィールドを追加 すべてのフィールドを追加

2. 集計する値が保存されているフィールド選択 3. 集計した値を保存するフィールド名を入力 4. 集計方法を選択

実績合計 実績 合計

フィールドを追加

⑤ プレビューで意図した設定になっているかを確認

	ABC 拠点	実績
1	京都事業所	687000
2	北九州事業所	687000
3	広島事業所	677000
4	北海道支社	1038000
5	九州支社	1398000
6	中部支社	1386000
7	大阪支社	2103000
8	本社	3334330

項目	設定
1. グループ化する項目フィールドを選択	拠点
2. 集計する値が保存されているフィールド選択	実績合計
3. 集計した値を保存するフィールド名を入力	実績
4. 集計方法を選択	合計

7. アプリ結合 完了イメージ

予算管理アプリと実績管理アプリを結合します。

Before

予算管理

	ABC 拠点	123 予算
1	京都事業所	1,200,000
2	北九州事業所	1,200,000
3	広島事業所	1,200,000
4	北海道支社	1,800,000
5	九州支社	2,400,000
6	中部支社	2,400,000
7	大阪支社	3,600,000
8	本社	6,000,000

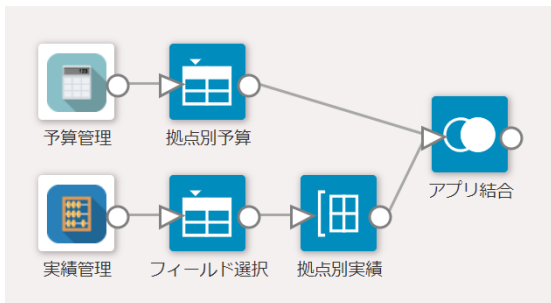
実績管理

	ABC 拠点	123 実績
1	京都事業所	687000
2	北九州事業所	687000
3	広島事業所	677000
4	北海道支社	1038000
5	九州支社	1398000
6	中部支社	1386000
7	大阪支社	2103000
8	本社	3334330

After

	ABC 拠点	123 予算	ABC 拠点_1	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	京都事業所	687000
2	北九州事業所	1,200,000	北九州事業所	687000
3	広島事業所	1,200,000	広島事業所	677000
4	北海道支社	1,800,000	北海道支社	1038000
5	九州支社	2,400,000	九州支社	1398000
6	中部支社	2,400,000	中部支社	1386000
7	大阪支社	3,600,000	大阪支社	2103000
8	本社	6,000,000	本社	3334330

フローの完成イメージ

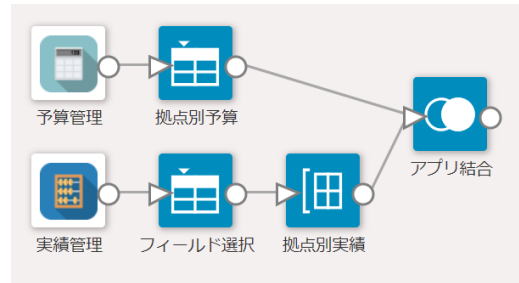


7. アプリ結合 設定方法

① コマンドの配置
「アプリ結合」をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



③ 結合条件を設定
[拠点別予算] (内部結合) [拠点別実績]
拠点

アプリ結合 設定 プレビュー

1. 元になるアプリの条件フィールドを選択

拠点別予算 ▼ 内部結合 ▼ 拠点別実績 ▼

拠点 ▼ 拠点 ▼

条件を追加

④ プレビューで意図した設定になっているかを確認

アプリ結合 設定 プレビュー

	ABC 拠点	123 予算	ABC 拠点_1	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	京都事業所	687000
2	北九州事業所	1,200,000	北九州事業所	687000
3	広島事業所	1,200,000	広島事業所	677000
4	北海道支社	1,800,000	北海道支社	1038000
5	九州支社	2,400,000	九州支社	1398000
6	中部支社	2,400,000	中部支社	1386000
7	大阪支社	3,600,000	大阪支社	2103000
8	本社	6,000,000	本社	3334330

※ 結合によりフィールド名が重複する場合は「拠点_1」のように、名前が自動的に変更されます。

8. フィールド選択 完了イメージ

結合の結果「拠点」フィールドが重複しています。必要なフィールドのみを抽出します。

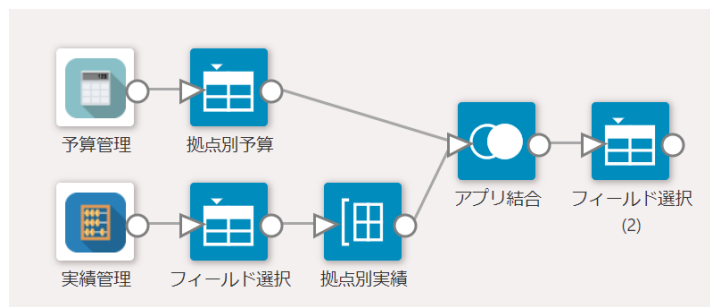
Before

	ABC 拠点	123 予算	ABC 拠点_1	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	京都事業所	687000
2	北九州事業所	1,200,000	北九州事業所	687000
3	広島事業所	1,200,000	広島事業所	677000
4	北海道支社	1,800,000	北海道支社	1038000
5	九州支社	2,400,000	九州支社	1398000
6	中部支社	2,400,000	中部支社	1386000
7	大阪支社	3,600,000	大阪支社	2103000
8	本社	6,000,000	本社	3334330

After

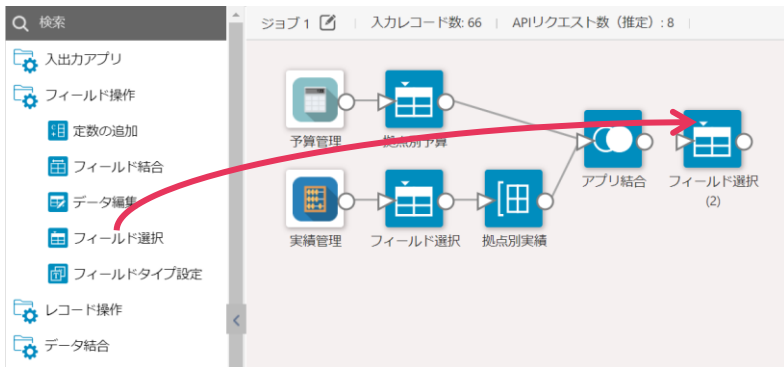
	ABC 拠点	123 予算	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	687000
2	北九州事業所	1,200,000	687000
3	広島事業所	1,200,000	677000
4	北海道支社	1,800,000	1038000
5	九州支社	2,400,000	1398000
6	中部支社	2,400,000	1386000
7	大阪支社	3,600,000	2103000
8	本社	6,000,000	3334330

フローの完成イメージ

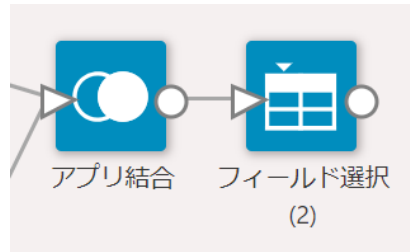


8. フィールド選択 設定方法

① コマンドの配置
「フィールド選択」
をドラッグ



② コマンドをつな
ぐ線でつなぎます



③ 必要なフィールドのみ選択する

- ・ 拠点
- ・ 予算
- ・ 実績

フィールド選択...

設定

プレビュー

1. 使用するフィールドを選択

2. 新しいフィールド名を入力（オプション）

1	≡ 拠点	名前の変更	×
2	≡ 予算	名前の変更	×
3	≡ 実績	名前の変更	×

すべてのフィールドを追加

すべてのフィールドを削除

3/4 選

④ プレビューで意図した設定に
なっているかを確認

	ABC 拠点	123 予算	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	687000
2	北九州事業所	1,200,000	687000
3	広島事業所	1,200,000	677000
4	北海道支社	1,800,000	1038000
5	九州支社	2,400,000	1398000
6	中部支社	2,400,000	1386000
7	大阪支社	3,600,000	2103000
8	本社	6,000,000	3334330

※設定タブが表示されない場合はフローのコマンドアイコンをクリックします

9. 差異を計算 完了イメージ

予算と実績の差異を計算します。

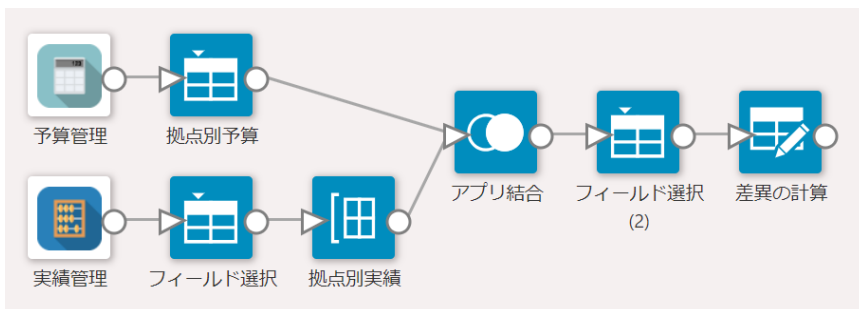
Before

	ABC 拠点	123 予算	123 実績
1	京都事業所	1,200,000	687000
2	北九州事業所	1,200,000	687000
3	広島事業所	1,200,000	677000
4	北海道支社	1,800,000	1038000
5	九州支社	2,400,000	1398000
6	中部支社	2,400,000	1386000
7	大阪支社	3,600,000	2103000
8	本社	6,000,000	3334330

After

	ABC 拠点	123 予算	123 実績	ABC 差異
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670

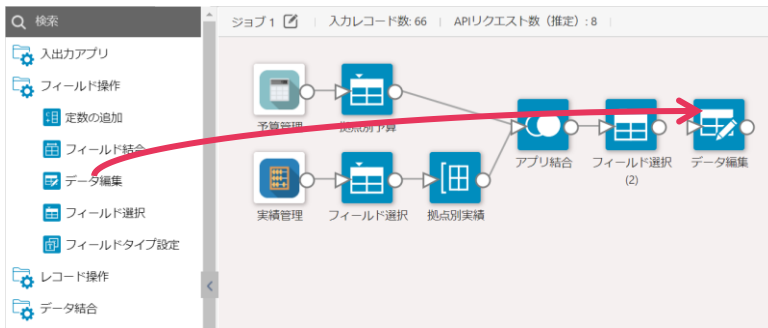
フローの完成イメージ



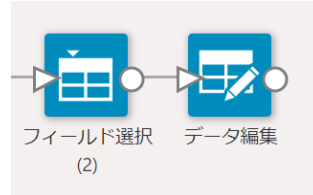
数式を使用して差異（実績－予算）を計算

9. 差異を計算 設定方法

① コマンドの配置
「データ編集」をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



④ コマンド名もあわせて設定

差異の計算

③ 計算方法を設定

差異の計算 [設定] プレビュー

1. 結果を保存するフィールドを選択
新しいフィールドを作成
新しいフィールド名を入力
差異

2. 編集方法を選択
数式

3. 編集内容を設定
=実績-予算

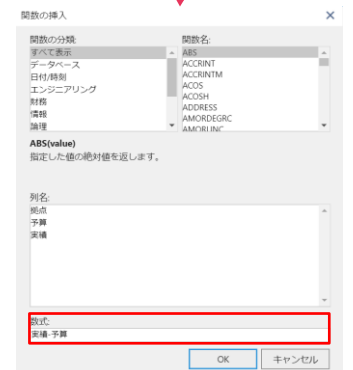
4. 検索条件
すべてのレコード

⑤ プレビューで意図した設定になっているかを確認

差異の計算 [設定] プレビュー

	ABC 拠点	123 予算	123 実績	ABC 差異
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670

項目	設定
1. 結果を保存するフィールドを選択	新しいフィールドを作成
新しいフィールド名を入力	差異
2. 編集方法を設定	数式
3. 編集内容を設定	実績-予算
4. 検索条件	すべてのレコード



※数式は関数の挿入
ダイアログで入力

10. 達成率を計算 完了イメージ

予算達成率を計算します。

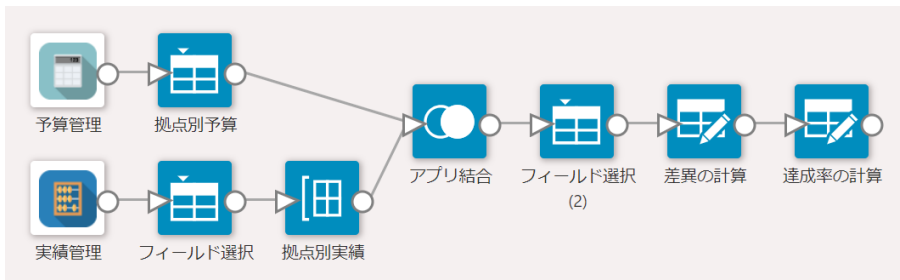
Before

	ABC 拠点	123 予算	123 実績	ABC 差異
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670

After

	ABC 拠点	123 予算	123 実績	ABC 差異	ABC 達成率
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.564166666666667
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000	0.576666666666667
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000	0.5825
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000	0.5775
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000	0.584166666666667
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670	0.555721666666667

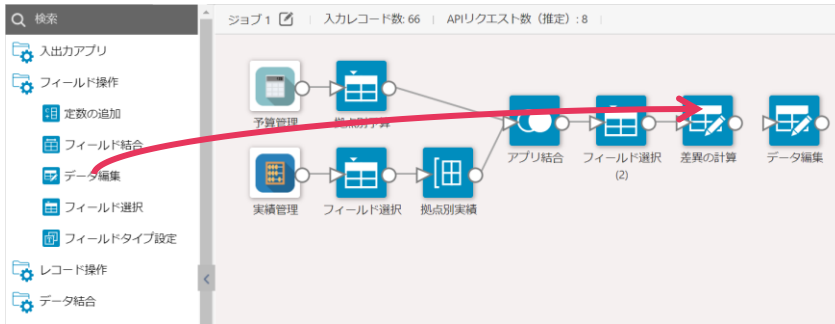
フローの完成イメージ



数式を使用して達成率（実績÷予算）を計算

10. 達成率を計算 設定方法

① コマンドの配置
「データ編集」をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



④ コマンド名もあわせて設定

達成率の計算

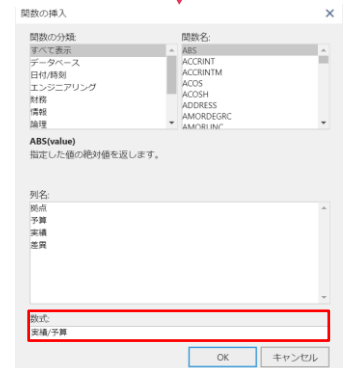
③ 計算方法を設定

達成率の計算 設定 プレビュー

1. 結果を保存するフィールドを選択	2. 編集方法を選択	3. 編集内容を設定
新しいフィールドを作成 新しいフィールド名を入力 達成率	数式	=実績/予算
4. 検索条件		
すべてのレコード		

⑤ プレビューで意図した設定になっているかを確認

項目	設定
1. 結果を保存するフィールドを選択	新しいフィールドを作成
新しいフィールド名を入力	達成率
2. 編集方法を設定	数式
3. 編集内容を設定	実績/予算
4. 検索条件	すべてのレコード



※数式は関数の挿入
ダイアログで入力

達成率の計算 設定 プレビュー

	ABC 拠点	予算	実績	ABC 差異	ABC 達成率
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.564166666666667
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000	0.576666666666667
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000	0.5825
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000	0.5775
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000	0.584166666666667
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670	0.555721666666667

11. フィールドタイプの変更 完了イメージ

データ編集コマンドで作成した差異と達成率フィールドは、フィールドタイプが「文字列（1行）」として作成されます。フィールドタイプを「数値」に変更します。

Before

文字列フィールド

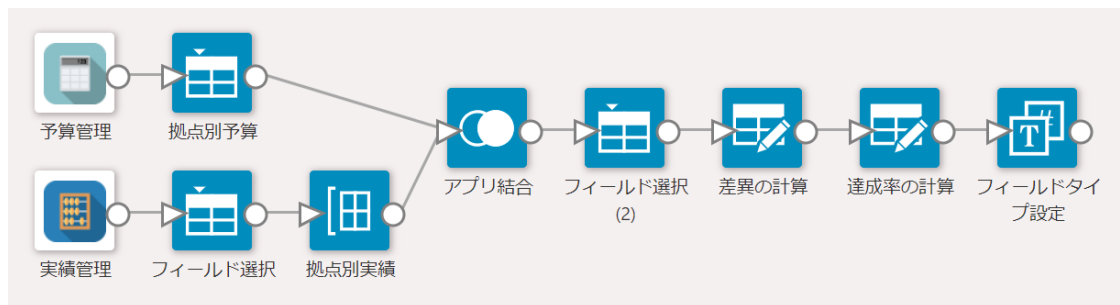
	ABC 拠点 ◆	123 予算 ◆	123 実績 ◆	ABC 差異 ◆	ABC 達成率 ◆
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.564166666666667

After

数値フィールド

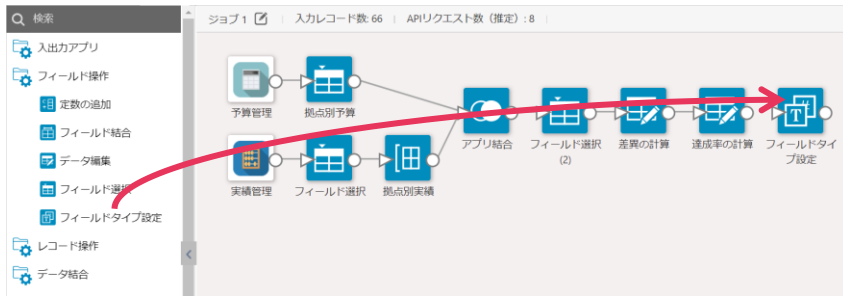
	ABC 拠点 ◆	123 予算 ◆	123 実績 ◆	123 差異 ◆	123 達成率 ◆
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.564166666666667

フローの完成イメージ



11. フィールドタイプの変更 設定方法

① コマンドの配置
「フィールドタイプ設定」
をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



③ 変更するフィールドを設定 ※
差異 → 数値
達成率 → 数値

フィールドタイ...

設定

プレビュー

1. 変更するフィールドを選択	2. 新しいフィールド名を入力	3. 新しいフィールドタイプを選択
差異	差異	数値
達成率	達成率	数値

フィールドを追加

④ プレビューで意図した設定になっているかを確認

	ABC 拠点	123 予算	123 実績	123 差異	123 達成率
1	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
2	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725
3	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.564166666666667
4	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000	0.576666666666667
5	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000	0.5825
6	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000	0.5775
7	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000	0.584166666666667
8	本社	6,000,000	3334330	-2665670	0.555721666666667

※ 「1. 変更するフィールドを選択」でフィールドを選択すると「2. 新しいフィールド名を入力」には、現在のフィールド名が自動的に入力されます。

最後のステップへ

完了

1. 入力アプリを選択



データ取得元のアプリを選択します
(複数選択可能)

完了

2. 編集コマンドを定義



データ編集コマンドを組み合わせ
てデータを集計・加工します。

最後に出力コマンド
を設定します

3. 出力アプリを選択

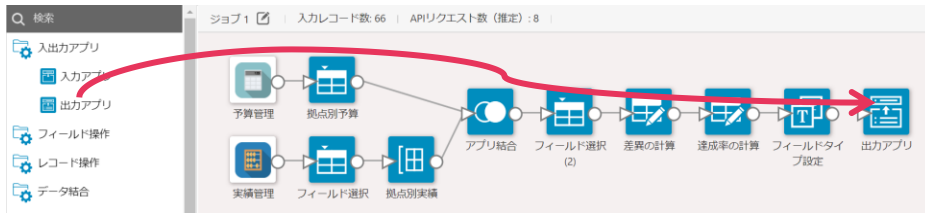


データ出力（更新）先のアプリを選択
します。

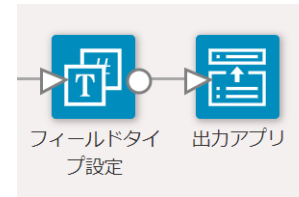
12. 出力アプリの選択 設定方法

結果データを出力するアプリを選択します。

① コマンドの配置
「出力アプリ」をドラッグ



② コマンドをつなぐ
線でつなぎます



③ 「[アプリを選択]」をクリック

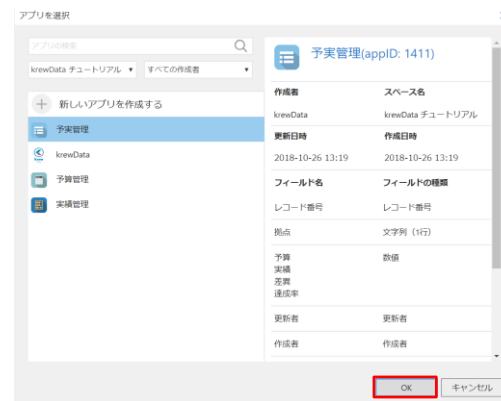


④ 「[新しいアプリを作成する]」を選択



⑤ アプリ名に「予実管理」と入力し [OK] をクリック

⑥ 「[OK]」をクリック



⑦ 「拠点」を更新キーに設定



⑧ アプリを更新



結果データの出力方法

出力アプリコマンドには、更新／再生成／追加の3種類の出力方法があります。

更新前

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	100
製品B	第二営業部	200
製品C	第三営業部	300
製品B	第三営業部	400
製品C	第四営業部	500

データ編集フロー
処理結果

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	110
製品B	第二営業部	220
製品C	第三営業部	330
製品D	第三営業部	440

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	110
製品B	第二営業部	220
製品C	第三営業部	330
製品D	第三営業部	440
製品C	第三営業部	390

更新キー（製品／部門）が一致するレコードを更新
（一致するものがない場合に追加するか否かを指定可能）

※更新キー（製品／部門）が一意になっていない場合は更新不可

処理結果

更新

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	110
製品B	第二営業部	220
製品C	第三営業部	330
製品B	第三営業部	400
製品C	第四営業部	500
製品D	第三営業部	440

再生成

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	110
製品B	第二営業部	220
製品C	第三営業部	330
製品D	第三営業部	440

データ編集フローの結果で入替

追加

製品	部門	金額
製品A	第一営業部	100
製品B	第二営業部	200
製品C	第三営業部	300
製品B	第三営業部	400
製品C	第四営業部	500
製品A	第一営業部	110
製品B	第二営業部	220
製品C	第三営業部	330
製品D	第三営業部	440

データ編集フローの結果を新規追加

データ編集フローの実行

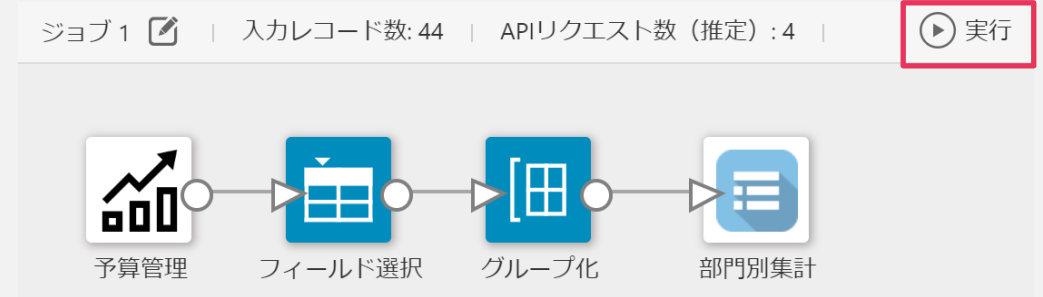


データ編集フローの実行方法

①即時（手動）実行

- データ編集フロー作成画面から手動実行
フロー作成中の確認時や即時更新したい場合に利用

※処理レコード数の上限は50,000レコード



②スケジュール実行

- 予め指定したスケジュールにより自動実行
毎日／毎週／毎月／毎年の単位で自動実行が可能

※処理レコード数の上限は200,000レコード

お試し中の処理レコード数の上限は50,000レコード、登録可能なスケジュール数は3個まで

全画面表示を終了 | アプリを更新

設定ファイル | ホーム

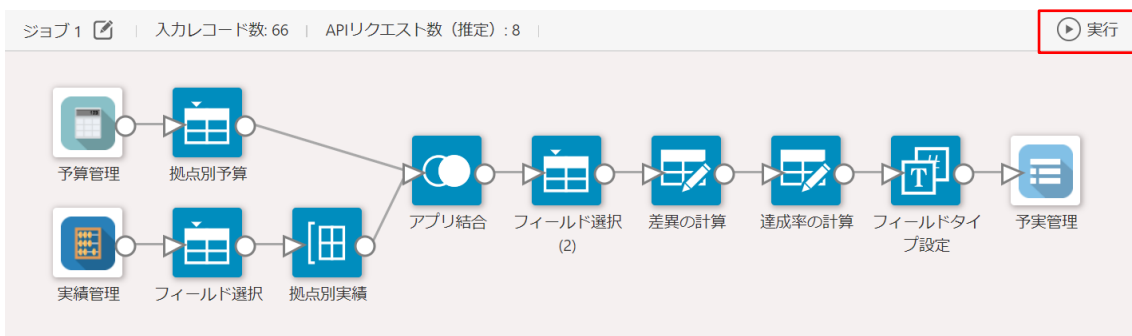
データ編集フロー

	データ編集フロー	スケジュール	スケジュール実行	実行結果	開始日時	終了日時	入力レコード数
⚙	1. 予算アプリと実績アプリのレコードを結合する（予算管理）	毎日 (1)	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2019-01-17 14:36	2019-01-17 14:37	66
⚙	2. 各種申請／精算アプリの金額を集計する（経費集計）	毎週 (1)	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2019-01-17 14:45	2019-01-17 14:46	51
⚙	3. 作業工数を月毎に集計する（工数管理）	毎月 毎月 (2)	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2019-01-17 14:39	2019-01-17 14:39	24
⚙	4. 計画と実績を管理する（予算管理）	毎月 毎月 (2)	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2019-01-17 14:40	2019-01-17 14:42	1394
⚙	5. 過去のデータと比較する（予算管理）	毎年 (1)	<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2019-01-17 14:43	2019-01-17 14:44	1394

13. データ編集フローの即時実行（1）

作成したデータ編集フローを実行し、結果データを予実管理アプリに出力します。

① フロー作成エリア右上の「実行」をクリック



② ユーザー情報の入力に関するダイアログで [OK] をクリック

情報



データ編集フローを実行するためにはkintoneのユーザー情報が必要です。ユーザー情報を入力してください。

OK

③ ユーザー情報画面でkintoneログイン名、パスワードを入力。[アカウントの確認] ボタンをクリックして入力したアカウントが有効なことを確認

全画面表示を終了 アプリを更新

④ 画面左の戻るボタンをクリック

全画面表示を終了 アプリを更新



13. データ編集フローの即時実行（２）

⑤ 再度、フロー作成エリア右上の「実行」をクリック



⑥ 実行が完了したら【ログ】リンクをクリックし、実行結果を確認 ※

作成日時

2018-10-24 16:58

データ編集フロー

ジョブ 1

実行方法

即時

実行結果

成功

開始日時

2018-10-24 16:57

終了日時

2018-10-24 16:58

入力レコード数

66

出力レコード数

8

APIリクエスト数

15

コマンド数

11

スケジュールID

1540096163900

フローバージョン

1540356056575

エラーログ

※データ編集フローの実行が完了すると、実行ボタンの右側に【ログ】リンクが表示されます。

⑦ 予実管理アプリを開き、結果データを確認



1 - 8 (8件中)

	レコード番号	拠点	予算	実績	差異	達成率	
	8	京都事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725	編集 削除
	7	北九州事業所	1,200,000	687000	-513000	0.5725	編集 削除
	6	広島事業所	1,200,000	677000	-523000	0.5642	編集 削除
	5	北海道支社	1,800,000	1038000	-762000	0.5767	編集 削除
	4	九州支社	2,400,000	1398000	-1002000	0.5825	編集 削除
	3	中部支社	2,400,000	1386000	-1014000	0.5775	編集 削除
	2	大阪支社	3,600,000	2103000	-1497000	0.5842	編集 削除
	1	本社	6,000,000	3334330	-2665670	0.5557	編集 削除

1 - 8 (8件中)

データ編集フロー実行完了の通知



データ編集フローの実行完了は、kintoneのリマインダーで通知されます



kintone個人設定のメール通知を有効にしている場合は、通知メールを受信することができます。

データ編集フローをスケジュール実行する（参考）

①データ編集フロー一覧のスケジュールをクリック

②ダイアログで実行スケジュールを設定する

全画面表示を終了 アプリを更新

設定ファイル

ホーム

データ編集フロー



	データ編集フロー	スケジュール	スケジュール実行	実行
⚙️	フロー 1	スケジュールなし	▼	

ジョブ 1

スケジュール #1

パターン: 毎日

時刻: 12:00

☒ 毎日 ☐ 平日

スケジュール #2

パターン: 毎週

☐ 日曜日 ☐ 月曜日 ☒ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 土曜日

時刻: 12:00

+

OK キャンセル

ご注意点と安全な利用方法

krewDataはアプリのレコードを自動で削除／更新／追加する機能を含んでいます。

注意点

krewDataではお客様のアプリのデータを保持しておらず、kintoneではトランザクション機能を有していないため、出力アプリのデータを処理前の状態に復元する機能は提供されていません。処理中に予期しないエラーが発生した場合、利用方法によっては出力アプリのデータの消失や不整合が発生する可能性があるため、以下のような利用方法をお勧めします。

※入力アプリのデータが影響を受けることはありません

安全な利用方法

1.データを再作成できる状態で運用する

新規作成したアプリを出力アプリに設定する場合、フローを再実行してデータの再作成が可能です
(入力アプリの対象レコードに変更がない場合)

2.実行前にバックアップする

①入出力アプリが同じアプリ、②出力アプリにkrewData以外で追加／更新／削除したレコードが含まれる、いずれかの条件に該当する場合はkrewDataからレコードを再作成できないため、以下の方法をお勧めします。

- 手動で既存データを[外部ファイルに出力](#)しておく
- 自動バックアップ機能を備える[kBackup](#)等の連携製品と併用してバックアップをとる

データ編集フローの作成のポイント

- データ編集フローを効率的に実行し、APIリクエスト数の消費や処理速度を抑えるためのポイント
 - 入力レコードを絞り込む
 - 適切な出力方法の選択（更新）

※詳しくは製品ヘルプの「[データ編集フロー作成のポイント](#)」を参照ください。

チュートリアル学習後の次のステップ



さまざまな集計シーンで活用できる小技や、データ編集フローを構成する際の考え方と手順を実際のユースケース例を通して学べます。

チュートリアル学習後のさらなるスキル向上には、ぜひkrewDataドリルをご活用ください！

[> krewDataドリルを確認<](#)